

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	コンビニ（店長）	・以前は「高いから買うのはやめる」という客が多かったが、今はイベントの時ぐらには大量に買いたいという客が多く見受けられる。子どもの買物量も増加傾向にある。
		通信会社（社員）	・携帯電話の新機種が近く登場する。
	やや良くなる	一般小売店〔精肉〕（店長）	・店内の改装により、来客数の増加が見込まれる。
		一般小売店〔書籍〕（店長）	・週末の来客数や売上也徐々に良くなっており、5月を底にして6月以降の販売に期待が持てる。
		百貨店（営業担当）	・ファッション分野ではサマーアイテムのTシャツ、サンダル、帽子、サングラスなどにヒット商品が出ないため横ばいで推移し、食・住関連は上質志向が顕著に出ているため前年を上回ると予想される。全体としてはやや良くなる。
		百貨店（営業担当）	・気に入った物さえあれば買いたいという意味が客に感じられる。秋物商材の立ち上げ時期にトレンド商品がきちんと打ち出されていれば、販売量は伸びる。
		コンビニ（経営者）	・長期予報によれば、今年も昨年同様に猛暑とされており、飲料や冷凍食品などの売上がかなり見込める。
		衣料品専門店（経営者）	・商品単価が安くなっていることもあって、客に消費意欲がみられる。客は大きな流行がなくとも、小さな流行には敏感になっている。
		その他専門店〔医薬品〕（営業担当）	・客は生活の中のTPOに合わせて種々の商品を選ぶケースが増えており、商品展開をきっちり行えば、客の購買満足度も得られ、売上は増加する。
		スナック（経営者）	・製造関連企業等では大変忙しく、また建設関連では利益は上がらないが、仕事はあるという声が聞かれる。このような企業では雇用者を例年より増やしており、全体的には良い方向に動いている。
		通信会社（営業担当）	・携帯電話の新サービス、新端末の発売を控えており、またボーナス時期に入るため、2、3か月先は来客数、販売量共に増加する。
		住宅販売会社（従業員）	・当社では分譲住宅販売を主体として取り組んでいるが、まだ十分な供給量を確保していない。しかし、8月ごろから完成物件が増加するため、受注の増加が期待できる。
		住宅販売会社（総務担当）	・全体の景況感に上昇気配が感じられ、地価の下落傾向が吸収されていく。地方にも底打ち感が出るタイミングにきており、除々にではあるが上昇基調にある。
	変わらない	一般小売店〔鮮魚〕（従業員）	・夏場や夏休みなどでは地元への旅行者が愛知万博に食べられるとみている。しかし、旅行者にあまり左右されない一部の料理店、居酒屋などでやや回復の兆しが見え始めており、プラスとマイナスで変わらない。
		百貨店（営業担当）	・夏のセール商品はメーカーから十分に確保できない。早めにセールを終えたいが、8月末まで販売していく秋色夏素材の商品がまだ見当たらない。
		スーパー（店長）	・多くの客は生活防衛のためにスーパーでの食品の購入基準を価格に置いており、この基調は当分変わらない。
		家電量販店（経営者）	・夏に向けてエアコンは天候次第である。その他の商品の動きは購入意欲を喚起するメーカーの宣伝や自社の販促活動によって変わるが、今のところ特に期待できるようなメーカー情報は無い。
		乗用車販売店（経理担当）	・本年秋まで車のモデルチェンジやマイナーチェンジ等が行われないため、現状維持が精一杯である。
		高級レストラン（スタッフ）	・昨年夏は猛暑のため飲料の売上が例年比110%程度であったが、今年は暑いとも涼しいともいわれており、不透明である。団体の予約は例年並みである。
一般レストラン（店長）		・予約客数に変化がみられない。	
観光型旅館（スタッフ）		・予約の発生が遅くなってきており、夏及び秋の行楽シーズンは弱含みである。	
タクシー運転手		・今後も客の節約傾向は続く。人出も増える要素が少なく、タクシー台数も多いため、厳しい状態が続く。	
タクシー運転手		・間もなく新規のタクシー業者が営業を開始する。	
テーマパーク（職員）	・愛知万博が開催されている9月まで現状は変わらない。		
美容室（経営者）	・種々の販促を打ち出しても、客の来店サイクルがどうしても改善しない。この業界の不況はまだ続く。		

	やや悪くなる	スーパー（店長）	・同業者が近くで3か月以内に開店する。この結果、客の奪い合いから価格が下落し、売上、収益共に厳しい状態になる。
		スーパー（総務担当）	・ゴールデンウィークはレジャー関係の需要が少なかったことから、この流れが夏まで続く。
		乗用車販売店（経営者）	・来客数、修理件数ともに減少傾向にあり、先行きは悪化する。
		観光型旅館（経営者）	・愛知万博の影響が予想以上に集客、特に個人客において響いている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・婚礼受注件数の減少が続いていること、一般宴会で前年の大型宴会に代わる宴会が見込めないこと等により前年を下回る見通しである。
		テーマパーク（職員）	・愛知万博の開催中は大きな回復は期待できない。個人旅行の多い夏には今以上にマイナスの影響が大きくなる。
	悪くなる	パチンコ店（店員）	・人気台が近く登場する予定がない。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	精密機械器具製造業（経営者）	・眼鏡の受注先の数社から、店頭での販売状況がやや上向きになってきているとの情報がある。また、当社の今後2、3か月の受注量も前年同期より若干伸びつつある。
	変わらない	金属製品製造業（経営者）	・2、3か月先の受注状況は現在と変わらない。
		一般機械器具製造業（経営者）	・昨年から今年4、5月ごろまで、取引先の設備投資に対する勢いはほとんど変わっていないが、今後は若干強めに推移する。
		輸送業（配車担当）	・原油の高騰から業界全体が厳しい状態に置かれており、どれだけ努力しても利益につながらない。
		通信業（営業担当）	・携帯電話の割引サービスの拡大が収入に若干影響するが、全体としてはほぼ横ばいである。
		通信業（営業担当）	・電話のIP化は、コスト低減化の最たるものであり、販売側の企業にとっては利ざやがさらに薄くなることにほかならない。今後、収益が上昇する事業の展開は難しい。
		司法書士	・不動産取引は増加しているが、依頼者に偏りがみられ、なかには廃業に伴う不動産取引も多く、必ずしも景気回復とは言えない。
	やや悪くなる	食料品製造業（企画担当）	・業界を取り巻く環境、特に主原料の高騰や石油ならびに関連素材の高騰が業績に大きく影響する。
		輸送業（配車担当）	・原油高騰により燃料費が増加しており、コスト削減も限界にきている。
	悪くなる	建設業（経営者）	・公共事業がますます縮小するなかで、工事費縮減のために発注条件は厳しさを増す。この結果、受注者の採算性はこれまで以上に悪化し、利益を計上できる建設会社は公共土木系ではみられなくなる。
		建設業（総務担当）	・鉄骨等の建設資材価格が上昇傾向にあり、工事原価の増大により粗利益の減少が見込まれる。
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・製造業、サービス業等を問わず、求人数は順調に伸びている。あまりスキルのない人でも就業後の期待感から採用されるケースが散見され、明るさがみられる。
		職業安定所（職員）	・新規学卒求人受理説明会を開催したが、前年より25%増の企業が参加した。
	変わらない	民間職業紹介機関（経営者）	・工作機械メーカーの好調が一部で聞かれるが 全体としては今の状態が続く。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・企業間、グループ企業間の統廃合による求人減や経費削減の動きがあり、今後の求人にも大きな影響が出る。
	悪くなる	-	-